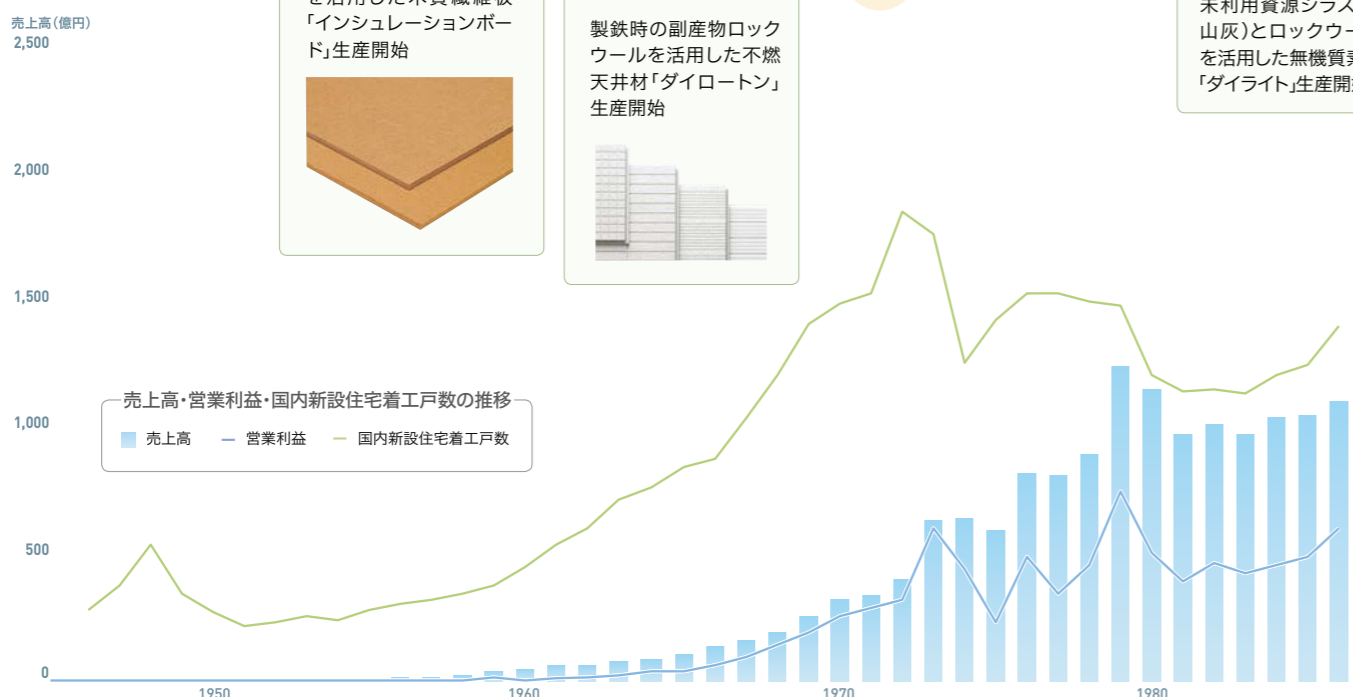
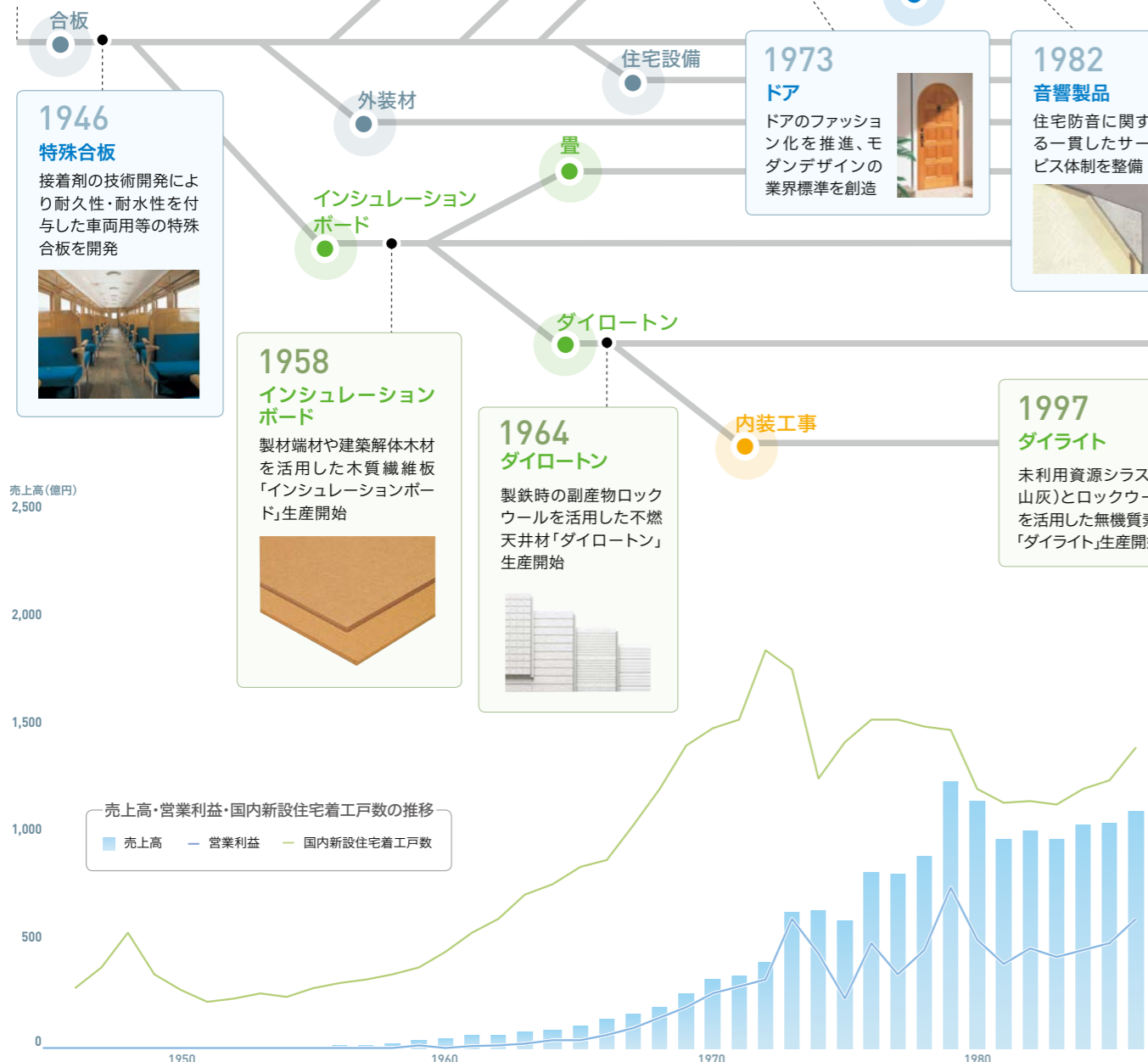


価値創造の変遷

大建工業グループは、創業以来、常に社会課題やニーズに応えるため、技術革新を重ね、暮らしに役立つさまざまな製品を開発してきました。これまでの歴史で積み重ねてきた強みを活かし、「住宅用建材のメーカー」から「建築資材の総合企業」へ、新たな価値を創出する企業への成長を目指します。

1945 創業

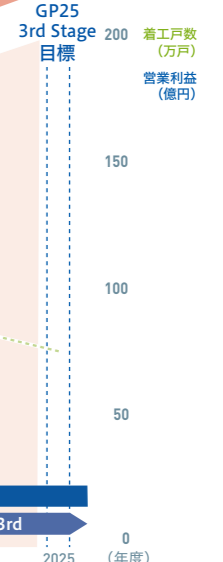


創業期	拡大期	飛躍期	選択と集中期	新挑戦期	長期ビジョン「GP25」実現への挑戦
1941 伊藤忠商事株式会社、伊丸紅商店、柳岸本商店の3社が合併し「三興株式会社」設立 1944 三興株式会社、呉羽紡績株式会社、大同貿易株式会社の3社が合併し「大建産業株式会社」設立 1945 大建産業株式会社林業部の全事業を継承し、富山県井波工場にて「大建木材工業株式会社」として創業	1954 特殊合板の製造を目的とした名古屋工場を新設 1958 岡山工場を新設「インシュレーションボード」の生産開始	1967 「大建工業株式会社」に社名変更 1969 内装工事等を手掛ける工務部を設置 1970 名古屋工場での「WPC床材」の生産開始 特殊合板の製造を目的とした富山工場を新設	1977 インシュレーションボード事業の拡張、高萩工場を新設 1984 内装工事会社、ダイケンエンジニアリング株式会社を設立 1987 床材事業の拡張、三重ダイケン株式会社（現 三重工場）を設立 1989 井波工場でのドア・階段など住機製品の生産開始、高萩工場での外装材の生産開始 1994 マレーシアMDF製造会社、DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. 設立 1995 井波工場に内装ドア生産ラインを建設	1996 岡山工場に「畳おもて」および「ダイライト」生産ラインを設置 1999 内装工事会社、鉦工業株式会社をグループ化 2000 内装工事部門をダイケンエンジニアリング株式会社に統合 2002 TOTO株式会社、YKK AP株式会社とリモデル分野で提携、大建工業（寧波）有限公司を設立 2005 マレーシアMDF製造会社をグループ化、DAIKEN MIRI SDN.BHD. 発足 2009 ニュージーランドMDF工場をグループ化、DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED 設立 2010 パナソニック株式会社と生産・調達面で業務提携、内装工事会社 三恵株式会社をグループ化 2012 ホクシン株式会社とMDF生産・供給面で業務・資本提携 2015 インドネシア内装ドア製造会社、PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA 設立 2016 マンションリノベーション株式会社、バックシステムをグループ化	2018 ニュージーランドMDF製造会社をグループ化、DAIKEN SOUTHLAND LIMITED 発足 DAIKEN R&Dセンターを開設 伊藤忠商事株式会社と資本業務提携 2019 カナダの単板工場CIPA Lumber Co. Ltd.、米国のLVL工場PACIFIC WOODTECH CORPORATIONをグループ化 リフォーム会社株式会社リフォームキューをグループ化 無垢床材事業を手掛ける株式会社フローリングをグループ化 2020 LVL用単板加工会社 日南大建株式会社にて生産開始

事業の特長と強み

- 建材事業**
高付加価値の建材開発力と内装空間のトータル提案力
- 素材事業**
独自の素材開発力
- エンジニアリング事業**
建材の機能を活かす施工力

長期ビジョン GP25 実現へ



大建工業グループの価値創造

価値創造の戦略

価値創造を支える基盤

データ編